

<No20 : 写真測量>

次の文は、航空レーザ測量について述べたものである。明らかに間違っているものはどれか。次の中から選べ。

1. 航空機からレーザパルスを照射し、地表面や地物で反射して戻ってきたレーザパルスを解析し、地形などを計測する測量方法である。
2. 空中写真撮影と同様に、データ取得時に雲の影響を受ける。
3. 対地高度以外の計測諸元が同じ場合、対地高度が高くなると、取得点間距離が短くなる。
4. フィルタリング及び点検のための航空レーザ用数値写真を同時期に撮影する。
5. 計測したデータには、地表面だけでなく、構造物や植生で反射したデータも含まれる。